



か え で ゆ う び ん 3月号



2023年3月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
かえで保育園
園長 引地 美津代

2023年もあっという間に3月をむかえました。子どもたちは「もうすぐ一つ大きくなる」という意識が、木々が芽吹くと同時にどんどん膨らんできました。「小学校に行ったらね・・・するの」「だいちになったら〇〇に行きたい」などの思い。また、ふたばの子どもたちは室内の階段も一人で上り下りできるようになり、めばえの子どもたちは保育者に抱っこしてもらわず、椅子に座って誕生日会にも参加できるようになってきました。

かえで保育園の伝統である「なんにでもチャレンジする気持ち」は、幼児の子ども遊ぶ姿やプロジェクトしているやり取りを傍で見ているちいさいこどもたちもただ、傍観しているのではなくじっと見つめる表情にはいつも「どうなっているんだろう?」「不思議だな〜」「ちょっと触ってみよう」「試してみよう」の思いをもって自分より大きなお兄さん・お姉さんの様子を観察しています。

その中で、「触っていいよ」「持ってみる?」「一緒にする?」の声にワクワクドキドキしながら関わりやってみる。この行為こそがまさに探求心・好奇心・継続する気持ちが湧きたたせます。

大人が準備した遊びは形が決まっていて、失敗や葛藤はあまりありません。「卒なくこなせる」というものです。子どもが発見し、納得いくまでやってみる営みは傍で見てみると大人もわくわくしてきます。そんなやり取りをしながら過ごしていただいち組もあと1ヶ月で巣立っていきます。ゴーヤも2年にわたって育ててきました。種コレクションもたくさんの種類の種が並んでいます。世界中を知りたい・・・からどの子どももたくさんの国旗を見分けられるようになってきました。そしてSDGSの取り組み。この取り組みは新聞社の取材も受けるほど大きく広がってきています。どの活動も今、だいちからひかりぐみをはじめ、下の世代に託していています。引継ぎ書もない、目で見て覚えた様々な経験を手取り足取りで受け継いでいる園庭や室内での様子を見ると「かえでの歴史はこうして引き継がれていくんだな〜」とうれしくなります。

そして、毎年恒例ですが今の時期になると事務所の訪問者のメンバーに変化が出てきます。はじめは怪我や体調がすぐれない時に保育者に付き添われてくる事務所でしたが、いつの日か一人でもふらっと入ってきてお話をくれたり、様々なメッセージを持ってきてくれます。そして新メンバーのデビュー。今、新しいメンバーが事務所内をいろいろ探求しに来ています。先輩のだいちとのやり取りも最終章。惜しみながらも2023年度の世界に少しずつ移行しています。どの子も自分らしく進み、自分の思いをしっかりとって未来へトライして欲しいです。未来へ向かって羽ばたいてね。

お知らせ

- ・マスクの着用は3月13日以降は子どもの着用は保護者の意向で進めますが、保護者の方は室内では着用をお願いします。
詳しくは別紙でお知らせします。
- ・ダンディ・タイムのお誘い
3月25日(土) 18:00~
振り返りと2023年度の計画をしたいと思います。玄関の用紙に参加できる方は名前を書いてください。
- ・進級に当たってロッカーの点検をします。24日(金)に一度全ての物を持ち帰り頂きサイズ・名前の確認をし、27日(月)に持ってきてください。

おねがい

- ・2023年度の保育用品や給食費等の徴収額が変わります。
詳しくは別紙で配布いたしますご確認ください。

3月の予定

- ・3日(金) ひなまつり
- ・11日(土) 卒園式 ※家庭保育のご協力をお願いします
- ・17日(金) お別れ遠足・お弁当日 **15日(水) ⇒変更しました**
- ・20日(月) 月例健診
- ・23日(木) 保育の視察(他園より見学者を受け入れます)
- ・24日(金) だいち園外保育
- ・28日(火) 誕生会・ありがとうの会
- ・1・20日(水・月) 絵画
- ・2・16・30日(木) 体操(9・23日はお休みです)
- ・31日は入園進級の準備をしますので可能な方は早めのお迎えをご協力ください

4月の予定

- ・1日(土) 入園式
*就労の方のみの保育となります。
- ・22日(土) 保護者会 午前中
2023年度の保育の進め方
音楽で遊ぼう
*親子でご参加ください。詳細は後日お知らせします。

園庭の多くの木々が芽吹き始め、春がそこまで来ています。卒園を間近に控える子どもたちの成長を喜ぶとともにみなさまとの別れを寂しく感じています。子育てや仕事との両立、家庭のこと楽しいことばかりではなく、しんどい時もたくさんあったかと思います。子どもたちと同じように大人も「笑ったり、泣いたり」を繰り返しながら、様々なことを経験しながら過ごしたことがこれからのお子様も保護者の方々にも思い出多いものになることを願っています。コロナ禍でゆっくりと話す機会が少なく保育園との共育が十分にサポートできなかったことが心残りですが、これから先も子どもたちの成長を見守りながら「かえで保育園」の思い出をたくさん育て、一人ひとりを大切に次へのステップに進める準備をしていきます。

主幹保育教諭 藤森 寿美

そろそろ春の訪れが待ち遠しいですね。かえで保育園では来年度の入園に向けて、新入園児面接を行っています。4月から入園されるお子さまと一緒に園内を回り探索していると、「ひみつのじかん」を過ごしているだいちさんが声をかけてくれました。「なんていう名前なの?」「あそびにきたの?」「かわいいね〜」「4月から、かえで保育園にきてくれるんだよ」と伝えると「え、じゃあ私たち小学校いくから会えないじゃん」と残念そうな表情。初めて会う友だちにも自ら声をかけ、自然と優しいまなざしを送ることのできるだいちさんを見ると、“人”が好きで、人と関わるのが好きな温かい気持ちが伝わってきます。おうちの方にたっぷり愛情を注いでもらい、保育園という第2のおうちで兄弟のような仲間たちと一緒に逞しく育っただいちさんは、きっとこの先も人との繋がりを持ちながら歩んでくれることと思います。困った時は支え合えること、悲しい時には一緒に涙を流してくれること、嬉しい気持ちを分かち合うと心地よいこと、今まで出会った人の中で感じてきた“ぬくもり”を心のお守りにしながら、新しい道もスキップするようにワクワクしながら進んでほしいと、心から応援しています。進級する子どもたちにとっても環境は少し変わりますが、一人ひとりの興味や物語は続いていきます。「さあ、はじまるぞ!」と意気込みすぎず、まずはまた一つ大きくなったことを子どもたち、そして保護者の方と一緒に喜びたいです。そして、子どもたちの育ちの継続を大切にしながら、声を掛けたり時にはこっそりで見守ったり、「なんだろう」「やってみたい」の気持ちが膨らむようなきっかけづくりも継続していきたいと思っています。

主幹保育教諭 河本彩奈

今月の子どもたちのようす

2月のかえでの様子をご紹介します。



もちつきの次の日にみんなで紙粘土あそびをしました。はじめは眺めていた子どもたちも、保育者や友だちが楽しそうに触って丸めたりする姿を見て、紙粘土に夢中になって遊んでいました。ちぎったり、指先で押しやりして紙粘土の感触を楽しみました。



砂場に大きな山があり、興味津々な子どもたち。登ろうとしたり、更に大きくしようと砂をかけたり穴を掘ろうとしたりとそれぞれの遊び方で楽しんでいました。



ままごとコーナーに常設している布で具材を巻いて「のりまきつくったの!」と嬉しそうに見せてくれました。経験したことが遊びの中でも広がっているようです。そんな姿を見て、花紙や絵の具あそびの模造紙を具材に見立て、海苔巻きを作りました。上手に画用紙を巻き巻きして美味しそうな海苔巻きが完成しました。



わらべうた「てんやのおもち」を保育者が歌い始めると、ままごとのお手玉を持って集まる子どもたち。歌に合わせて動く保育者の手をととても集中して見えています。歌が終わると“もう一回”と言わんばかりに期待たっぷりの表情で見えています。



今つぼみで大ブームの動物カルタ。
「手はお膝～」を合言葉にゲームが始まります。カルタを出した当初は見つけるのに時間がかかっていた子どもたちでしたが、今では、文章の途中で動物を探せるほどの早さになってきました。



遊びや生活の中で指先を使う力がつき、ハサミやスプーンの持ち方が安定してきています。
ハサミでは一回切りから連続切りに、スプーンでは上持ちから下持ち・3本の指で握ることができるようになってきています。



積み木遊びが今月も盛り上がっています。
イメージしたものを形にしたり、高く積み上げて自分の身長と比べてみたり…
絵本「さんびきのやぎのがらがらどん」に出てくる橋を作って、ヤギをのせて遊んでいる子もいました。絵本に出てくるセリフも合わせて世界観を楽しんでいます。





朝晩は冷える日が続いていますが、日中は暖かく園庭では泥団子作りをしている姿が見られました。「ここにさら砂いっぱいあるよ」「こうやって作ったら固い団子ができるよ」と子どもたち同士で教え合いながら友達と楽しい時間を過ごしていました。



室内遊びではかるた遊びが盛り上がり、読み札に書いてあるひらがなの文字を見てカードを探すことを楽しんでいます。友達に先に取られる悔しさもありますが、「〇〇まいとれたよ」と嬉しそうに教えてくれます。



ひかり・だいちのお兄さんお姉さんが雪遊びに行っている日に園庭でリレーをして遊んでから、毎日のように「リレーしたい!」と思いを伝えてくれる子どもたちです。バトンを手にとると全身を使って一生懸命走っています。パスが上手いかなかったり転んでしまったりと苦戦もありますが、先日は異年齢でリレーを楽しむ姿も見られました。



かえで保育園恒例の小学校への準備として駅前の文房具屋に行き、1人ずつ連絡帳を購入しました。保育園までの道のり、連絡帳を大事に持っている子ども達の顔を見ると、とても嬉しそうで誇らしい表情でした。就学に向けて、自分で責任をもって持ち物やお知らせを確認したり、文字に関心をもつことができるように連絡帳を使っています。「小学生になったみたい」と嬉しそうな子どもたちでした。



明日もってくる物は…



つぼみ組と東三公園まで散歩に行きました。「手繋いで行くよ」「あそこの信号変わるから見ててね」と目を合わせて話す様子や「車危ないからチェンジ!」と自ら車道側を歩く様子を見ると、子ども達なりに考えて安心して散歩できるように声を掛ける姿がありました。4月からの子ども達の関わりも、お世話をする子だけではない一緒にいて落ちつく、ほっこり安心できる関係性が築けるよう見守っていきます。



お餅つきに参加できなかったお友だちともう一度楽しみたい!とリクエストに応じ「カレーづくり」をしました。少し寒かったですが、ほかほかのカレーを頬張り皆で窯を囲んで、身体も心も温くなりました。



おいしくできてるかな

つぼみ組との散歩時にふと子どもたちから出た「チェンジ!」の声に合わせて、自分を車道側にして歩くように移動する子どもたちの姿がありました。園に帰ってから尋ねると「前のだいちさんが散歩の時にしてくれてたよ」「道路にでないかなって思って」とそれぞれが感じたことや自分がしてもらっていた頃のことを思い出しての行動でした。泥団子を作る時に使いやすいさら砂の場所、「コマ回し勝負!いちにのいちにの…」とコマ回しをする時の掛け声等、かえで保育園には遊びをとおして卒園生達が残していった思い出がたくさんあります。直接関わりはなくても、子ども達の思いが代々引き継がれていることに嬉しく感じます。





お台所から

～2月の食育活動～

2月2日 節分

今年の節分は「キンパ」を作りました。

きれいに仕上がったキンパの山にみんなおもわず「おいしそ～！」とごはんを食べる前から大興奮な様子でした。具材の彩りもよく、見た目も味もやさしく乳児クラスからも好評でおかわりも沢山してくれました。

おやつにはだいちさんの前で実際に豆を炒りました。炒った豆はすり潰し、きな粉にして「きなこバナナ」にしました。きなこは大豆から出来ていることやいつもと少し違うきなこバナナにとっても嬉しそうでした。



もちつきの様子を見たり実際についた経験から、もちつき遊びをしています。2人が「ぺったんこ」「ぺんたんこ」ともちつく子どもの姿は、園庭でした時のように威勢がよく清々しいです。



雪遊びにひかり組、だいち組の友達が出かけました。楽しかったことをはまかぜに分かれて絵で表現しました。バスに乗って行ったこと、友達と一緒に雪で遊んだこと、雪だるまを作ったことなど、鮮明に覚えている思いを表現していました。



2月15日

園庭でおもちつきをしました。

砂糖醤油かきなこのどちらかを選んでみんなで味わって食べました。一生懸命についたおもちはとっても美味しく、「僕はきなこをつけて食べたよ」、「もっと食べたい」との声がたくさん聞こえてきました。

だいちさんは釜の中でホカホカの「やきいも」をほおばりお腹いっぱいになりました。



2月17日

お昼ごはんに「おでん」が登場しました。

具材たっぷりのおでんと温かいお出汁で冷えた身体も温まりました。

食べている様子を見に行くと、「あったかいよ」、「大根がおいしい」「家でも食べたよ」など美味しそうに食べてくれてとっても嬉しかったです。



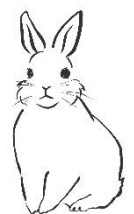
～3月の献立・予定している食育活動～

だいちさんがかえで保育園の昼食やおやつを食べるのも最後の月になりました。

そこでだいちさん一人ひとりに好きなメニューを聞き、そのリクエストのあったメニューが3月の献立で登場します。定番のメニューから大人気メニューなど子どもたちがリクエストしたメニューが出てくるのをぜひ楽しみにしてください。

3日に行う「ひな祭り」には、お昼は「ちらし寿司」が登場し、幼児さんはおやつに「ひなあられ」を予定しています。

「かぶ」や「れんこん」などの野菜や「白菜」をちぎるなど、3月も野菜に触れる機会をたくさん作っていきたいと思います。



先生たちのメッセージ

みなさん、ミニバスケットボールってご存じですか？

プレーする対象者は小学生です。ボールの大きさやリングの高さ、スリーポイントがないなどの違いはありますがその他のルールも含め立派な『バスケット』です。

私が、地域の小学校のミニバス指導者として10年以上携わるきっかけとなったのは当時、小学2年生だった息子の入部でした。

それから親子共々、見事にミニバスにはまりました。最初は普通の保護者でしたが気付くと審判用のホイッスルを持たされ、子どもたちと一緒に走りまわっていました。

ミニバスを通して嬉しかった出来事は、かえで保育園の卒園児たちがミニバスを始め、試合会場で再会できたことでした。私を見つけると笑顔で走ってきてくれ「こんにちは」と少し照れながらも元気に挨拶をしてくれました。コートの中で頑張っている姿をみていると、小さかったころの姿を思い出し、大きく成長している驚きと嬉しさ、そしてこんな素敵な再会ができたことに心が温かくなりました。

かえでの子どもたちにもスポーツに限らず、自分の好きなこと、たのしいことをどんどん見つけていってほしいと思います。そして機会があれば保護者のみなさんも子どもたちの「たのしい」を一緒に見つけ、経験してみてください。

星加 由美子

春の日差しも出てきて、少しずつ過ごしやすい日が増えてきました。みんなで園庭を駆け回り心も身体もポカポカになりました。先日、通っていた高校が40周年を迎えました。記念誌の中に元気いっぱいの高校時代の写真を見つけました。思い返せば、高校3年間毎日体調を崩さずに学校に通っていたのは元気に身体を動かす事で体力が付き免疫力が上がったからではないかと思いました。体を動かす事が大好きで小学校5年生から大学生までやり続けていたバスケットボールのおかげで今も元気いっぱいの私でいられたんだとつくづく思います。そんなバスケットボールを社会人でも活動しているチームを今探しています。“どうせやるなら本気でやりたい！”という思いから、西宮ストークスというプロのチームの方々に教えてもらえる機会があるという情報を入手したので詳しく調べているところです。もし、詳しい方がいましたら教えてくださいとうれしいです。これからも子どもたちの元気さに負けないうらい元気に園生活を楽しんでいきたいと思います。

西田 汐里菜



保護者からのエピソード

3月になり、卒園式まであと数日となりました。家では子どもたちと小学校の話をするのですが、妹はお兄ちゃんがかえで保育園からいなくなってしまうことが寂しいようで、「〇〇も小学校行きたいなあ…」と呟いていました。

いぶき・だいち組 かざきさん

なわとびやこまなど、今好きな遊びをお迎えに行くと見せてくれます。短い間にびっくりするほど上手にできるようになり、子どもの成長の早さを感じます。

ひかり組 みきこさん

先日、お迎えに行った時、上手にコマ回しをしていて驚きました。保育園のお友達とみんな練習した成果ですね！これからも成長が楽しみです。

ひかり組 えみさん

入園してもうすぐ3年…本当にあっという間だなあとしみじみ思います。すっかり大人と対等に話せるようになり、最近のかえででの生活をしっかり伝えてくれます。これからも色々な体験を聞くのが楽しみです。

つぼみ組 あきこさん

帰ってから園での話を聞くと、お友達の名前が出てくるようになりました。まだ自分から話してくれませんが、園でお友達と楽しく遊んでいると思うと成長したんだと思います。

ふたば組 ともこさん

いつの間にか国旗に詳しくなり、「星がついている国旗は？」「三角が入っている国旗は？」とクイズを出してくれます。おかげで家族全員国旗を覚えてきました。

だいち組 けいこさん

CMの曲や人の言い方をよくまねするようになり、毎日よく口ずさんでいます。その中でもお店の人が言う「いらっしゃいませ～」と独特の言い回しを気に入っており、そのお店に行くと、「今日、いらっしゃいませ～のひとおらへんな。」とチェックするようになりました。

ひかり組 よしみさん



あそびへの思い

めばえ

めばえ組で過ごす時間も残り一か月となりました。入園当初を思い返し、心身ともに成長したことによるこびを感じている今日この頃です。保護者の方々も初めての園生活に不安いっぱいだった4月から1年が経ち、子どもたちが安心して過ごせる空間を大切にしながら1年間過ごしてきました。保育者から離れて一人で遊んだり、友だちの名前を覚えて一緒に遊ぶ姿が見られるようになってきました。この1年間めばえ組で、ゆったり保育者と過ごした温かい時間が、基盤となり、これからかえで保育園で安心して過ごしていけるよう一人ひとりに寄り添っていきます。

宝田聖美 小坂橋円香 峰夏音

ふたば

ふたば組の部屋で過ごす時間も残りわずかになりました。簡単なズボンの着脱も一人でできるようになり、肌着やTシャツの着脱に挑戦する姿が見られます。少しずつ自分で出来る事が増えてきて、子どもたちの成長に驚かされる毎日です。3月後半からつぼみ組の部屋での生活が始まります。新しい部屋での生活がワクワクするよう子どもたちと2階を探検しに行き、遊びに行く機会を作っていきます。つぼみ組では、環境が今までと少し変わりますが、自分でやってみたい気持ちもどんどん増えていきます。新しい生活の中でも安心して経験を重ねていけるよう、保育者がそばで見守り援助していきたいと思います。

福井真裕子 尾崎美緒 西田汐里菜



つぼみ

つぼみ組として過ごす事も残り1ヶ月となりました。少しずつ身の回りのことも一人で出来る事が増え、夏ごろに援助していたことも、見守る事が中心となりました。1人で難しいことがあれば近くの友だちに助けを求める姿も見られます。「先生、手伝って」という声もだんだん聞こえなくなり、嬉しい反面、少し寂しい気持ちもありながら、子どもたちの成長を日々感じています。友だちとの関わりも深くなり、共通の話題で会話をしたり、同じものを一緒に作る姿が多く見られました。この一年で経験した“自分でできる”ことを自信に変え、自分だけの力で難しい時は“友だちと一緒にならできる”ことを胸に、幼児クラスの生活を楽しめるように関わっていきます。

立田瑛怜菜 小寺涼香 近藤幸音

いぶき

いぶき組になり1年が経とうとしています。今年は「みてみて！こんなことができるようになったよ」という子どもたちの声で溢れた毎日でした。できることがどんどん増えていき、心身ともに成長している子どもたちの姿を見て、「ほんとうに大きくなったなあ…」と感じます。来年度は憧れのひかり組になり、自分よりも小さな友達が部屋にやってきます。卒園するペアのお兄さんお姉さんに優しくお世話をしてもらったり助けてもらったように、思いやりの気持ちをもって過ごしてほしいです。又、これからも周りの環境や友達からたくさんの刺激を受けながら「やってみたい！」を原動力に色々なことに挑戦してほしいと思います。

小城美紗

ひかり

ひかり組で過ごすのも残り1か月となりました。ときどきしながら広い部屋で、先生やお兄さんお姉さんと一緒に過ごし始めたいぶき組。先生に見守られながらやってみたいことに挑戦し、嬉しい気持ちの時やもやもやした気持ちの時も『友だちと一緒に』を経験してきたひかり組。そしていよいよ次はだいち組です。自分のことも相手のことにも素直な気持ちで伝えあえるよう関わりを深めながら、だいち組になることを楽しみに過ごしていきたいです。

日笠加菜

だいち

いよいよ保育園生活最後の1か月を迎えました。子ども達と大切な人について話をしていると、友だち・家族・先生など大切な人がたくさん出てきました。保育園や家での思い出を振り返っていると、「保育園離れたくない」と途中で涙する子どももいました。涙が出るくらい楽しい思い出と素敵な仲間に出会えたんだと、私自身も心が熱くなりました。この先もっとたくさんの人と出会い、様々な経験をしていくと思います。友達、家族、保育者に見守られて過ごしてきた日々を自信に変えて、たくさんの思いが詰まったかえで保育園での経験がそれぞれの新しい環境への一歩に繋がるよう願っています。

松岡桃花

はまかぜ

「コマ回し、勝負、いち・にの・いち・にの・いちにのさん！」と、2月に入るまではだいち組の友達が、コマを回す時に掛け声をしていました。掛け声のリズムの心地良さや、だいち組の友達が熱中している姿を見て憧れからか、自然といぶき組、ひかり組の友達にも掛け声が広がっていきました。このように遊びがいぶき組、ひかり組に伝承され、かえで保育園の遊びの文化となっていくのだと感じています。

最近、だいち組の友達から卒園の言葉が聞こえるようになりました。「きみとであえたこと これはとってもすごいことなんだ」と朝の集いで歌っている「がんがん」の歌詞にあるように、子どもたちとペアの友達と出会い、一緒に過ごしてきたことを喜び合える時間を過ごしていきたいです。

坂本春佳 星加由美子